

◆ コスモスの秋から紅葉の秋・2025年師走へ 神戸の街で 2025.12.27.発信 神戸便

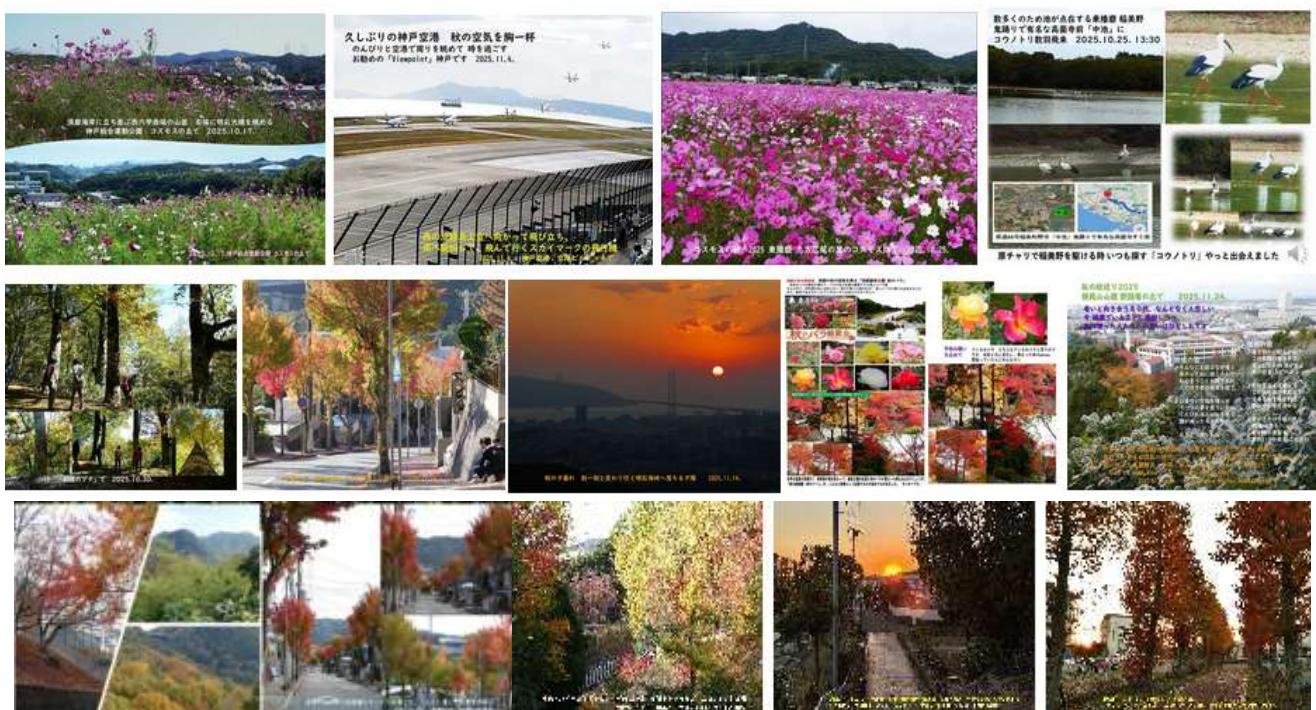


街のリニューアルが進み、活気が出てきた神戸の街 2025 師走 神戸の街の夜を彩る「ルミナリエ」の灯が1月に移行して、
ちょっと寂しくなっていましたが、「海・山・街の素晴らしい秋景色」が街を彩る中、神戸の街の改造が急ピッチで進む神戸
神戸の港から神戸の街を眺める新スポット新港第3突堤「TOTTEI」「ジーライオン アリーナ」誕生
神戸の街の新しい息吹 活気が出てきた神戸の街の師走です 2022.12.8. 神戸三宮の街で

◆ 10月コスモスの秋から11月紅葉の素晴らしい秋景色 そして師走へ 2025.12.2.発信

本年も秋が猛スピードで駆ける短い秋 街は一機に紅葉して 初めて気が付いた素晴らしい神戸の街の秋景色

神戸 紅葉の秋 2025 10・11月 神戸からの秋便り



でも、世相は混乱 老い行く身には厳しい世相 高度情報社会の歪が見え隠れ 厳しい時代を生き抜かねば…と

HP「和鉄の道2025」の一年を振り返えりつつ みんなみんな ありがとう 感謝です

God Be With You!! & You Raise Me Up 今日も一日 "Nice Day!!"

あっという間に 師走を迎へ From Kobe Mutsu Nakanishi

◆ コスモスの秋から紅葉の秋・2025年師走へ 神戸の街で 2025.12.27.発信 神戸便

収録1. 新聞・web 収録【1】 今秋他人事とは思えぬ里への熊出没と人身被害続出 最も対策が進んでいるという兵庫県の現状と対策

収録2. 文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞9・10・11月掲載整理転記

収録3. 新聞・web 収録【2】 【1】神戸新聞「正平調」・より眺めた世相 【2】神戸新聞<汀にて>鷺田清一氏「木漏れ日のように

密室の関係ほどく力を」【3】本年ノーベル賞受賞の北川進氏・坂口志文氏 日本の科学技術力の将来を憂う

本文 : <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711.pdf>

収録 : <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711tenpu.pdf>

本文+収録 : <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711Sougou.pdf>

10月・11月 神戸の街の秋景色photo

コスモスの秋から紅葉の秋へ

1.10月 うれしいコスモスの秋到来

真っ青な空 大空見上げて 秋の空気を胸一杯

秋の風にゆらゆらと揺られる姿が愛らしい |

◎ 神戸総合運動公園 コスモスの丘で 2025.10.17.

◎ 毎年訪れる加古川西岸志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.

◎ 幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会いに 2025.10.25. 13:30

ため池が点在する稻美野の田園地帯鬼踊りで有名な高苗寺前「中池」で

2.11月 素晴らしい紅葉の秋 景色

◎ 妙法寺・名谷界隈の街紅葉 刻々と変化するその美しさにはっと気が付く

[1] 夕暮れ 横尾道 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.

[2] 山麓バイパス沿い名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025.11.14.

[3] 妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025.11.15.-24.

◎ 月秋送り2025 野路菊の花満開の横尾山山腹 野路菊の丘で

兵庫の秋の風物詩: 兵庫県の花 真っ白な小菊 2025.11.24.

真っ白になった丘で、ゆっくり仲間に思い浮かべつつ、いっときを過ごす

◎ 須磨の秋の風物詩 咲き誇る大輪の秋のバラ & 赤紅葉の離宮東ゾーン

須磨の秋の掉尾を飾る須磨離宮公園秋のバラ 2025.11.24.

3.11月 混迷を深める世相 この秋 気になった世相

神戸新聞コラム「正平調」等より

ノーベル賞受賞の北川・坂口両氏日本の科学技術力 将来憂う

神戸新聞 朝刊 「汀にて」鶯田清一 木漏れ日のように密室の関係ほどく力

4. 文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞

9月 国民が食い物にならぬよう

10月 いい仲人さん 政界にいれば

11月 せっかくかつぎあげたけど

5. 仲間からの定期便

6. 更新概要

幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会い

本当にラッキーでした 2025.10.25. 13:30

数多くのため池が点在する加古川東岸 稲美野の田園地帯鬼踊りで有名な高苗寺前「中池」に



2025年「和鉄の道・Iron Road」を振り返って

HP 和鉄の道 2025年掲載記事

【和鉄の道・Iron Road 2025 : 鉄の話題 全16編】

■ 陰鉄素材による陰鉄鉄器原始鍛冶復元 鉄創世紀プロジェクト通信の転記 6篇

■ たらら製鉄・たたらの歴史の関連 3篇

■ インターネット・新聞ニュース:低炭素社会実現へ日本の鉄鋼再生の道 7篇

◆ その他 Review Document 2篇

◆ スライド 動画 1件

【風来坊・Country Walk2025 全28篇+積み残し2件】

■ 近畿 walk 27篇

■ その他 各地walk 0篇

◆ その他 Review Document 1篇

◆ スライド 動画 27件+積み残し2件

【四季折々・From Kobe 全9篇+収録添付16件】

■ 神戸季節の便り 9篇

▼ 神戸季節の便り収録 9篇

◎ 桂文珍落語的見聞録 神戸新聞 整理転載 6篇

◎ 気になるニュース インターネット・神戸新聞コラム他 10篇

< 10月コスモスの秋から11月紅葉の素晴らしい秋景色

ボストコロナ 世界的な社会変革の新時代 スマホが高度情報社会の必須ツールとなった高度情報社会 地球温暖化が引き起こす激甚災害も我が身にも迫る。

低炭素社会・AI等々新しい時代に夢を膨らませましたが、次々とそのはころびが見え隠れ。

昨今 世界的な物価高騰をが止まらぬ大団の横暴といまだに收まらぬ悲惨な戦禍。

国際協調ではどうにもならぬ大団の横暴とあつていう間に

眞偽を問わず世界に拡散する情報とそれを利用する人の群れ。

選挙ジャックまで起きたこの秋。幾つになっても気になる日本の生きる道です。



ドジャース 大谷選手の活躍にかじりつき、家時間が増えたこの秋、
酷暑の影響か、10・11月 一度に秋の草花も咲いて、コスモスの秋から紅葉の秋へ
まれに見る美しい秋景色になりました。

また、社会インフラの社会老化の露呈と共に、

街中に現れた熊騒動と高騰する米騒動も社会を揺るがす大事件。



80歳を超えて、なんとなく恋しく 今までとは違うと感じる毎日ですが、
"仲間の元気はみんなの応援歌!! God be with You!! とみんなにエールを送りつつ

"家族共々 健康でいることに感謝して、今日も一日 Nice Day !! "とわが身を奮い立たせる毎日

あつという間に秋から師走に 勝手気ままな風来坊 久し振りにHP更新 神戸からの便りです
厳しい世相 色んな事が起こる時代 無理せず、元気で毎日を
あい変わらず デジカメ片手の風来坊
採りだめたデジカメ画像や新聞やインターネットで見た記事の
切り取り収録。勝手なもののばかりのメモですが、何かのお役に立てばと。
from Kobe 2025.12.15. Mutsu Nakanishi



この秋楽しみにしていた氷ノ山の山腹を巡る氷ノ山林道秋の自然観察会にも参加。
紅葉が遅れているので、一週間遅らせたと聞きましたが、紅葉はまだ始まったばかり。

でも、氷ノ山山腹のブナ林の美しさ。兵庫県にもこんな美しいブナ林がある

また、この春自然観察ができなかった横行渓谷。もう"秘境"

交通の便が悪いので、すぐお勧めは出来ませんが、山麓を基地にきっちり情報を集めての
walkお勧め。 2025.10.30. 秋の氷ノ山林道自然観察会に参加して

■本年の秋 他人事とは思えぬ里への熊の出没と人身被害の続出 兵庫県の現状と対策

兵庫県の熊出没の現状と対策のレクチャーもきっちり受けました

【熊出没情報 資料添付:】本年の秋 話題になった熊の街出没と対策
一番対策が進んでいると言う兵庫県



本当に色々な事があった一年。あつという間に1年が経ってしまいました。今までとは違うと感じる"これが老化か?"と向き合った一年。振り返れば、行動半径も狭まり神戸で毎日を過ごした一年。身体能力は衰えましたが、まだまだ好奇心もあり、足も動く。毎日散歩で眺めた景色やweb・新聞で知った情報を集めて動画にして、行動記録メモにしてHP掲載した1年。もう掲載したFileを引っ張り出す事もないが、激動の時代の生のデータ記録。

特に近年のスマートの時代になって、「眞偽がわからぬ情報の氾濫」それも「数種類・刹那の無責任さ」。

少数の意見も真摯に受け止め、聞き入れる余裕代がなければ決して革新の時代は生まれない

「老年高齢者は早く 表舞台から退陣せよ」との声を意識しつつも、なんとか穏やかな未来が訪れるようにと願う一年でした。

「瓢箪から駒」「おもいかげぬ会話・討論」が引き金のアイデアは教知れず。片隅にこんなDataも残っていると。

多くの人に助けられつつ、生かされていると感じる一年。知識や多数同調が知恵や多様性理解へ昇華して

社会変革の尺度になってほしいとまた勝手なぶつぶつです。ありがとうございます。

お互い今元氣でいることに感謝しつつ、来年も前向いて。2025年師走 From Kobe Mutsu Nakanishi

1. 10月 うれしいコスモスの秋 到来

真っ青な空 大空見上げて 秋の空気を胸一杯 丘の斜面一面にコスモスの花 秋の風にゆらゆらと揺られる姿が愛らしい
◎ 神戸総合運動公園 コスモスの丘で 2025.10.17.



猛暑が続く近年の夏厳しい暑さに夏の花の手入れが困難になって、近隣の里では休耕田を利用したコスモス畑栽培が次々と消えてゆく。そんな中で、元気に咲くコスモスの花は神戸の街の秋の風物詩。

花の数は随分少ないですが、ピンクの花が風に揺られる姿健在

◎ 毎年訪ねる加古川西岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.



四季折々訪ねる志方の郷 右手に志方城山の麓広尾の里にピンクの帯が見える

もう、時期が遅れたのでは?と心配でしたが、間に合った…

◎ 幸福を運ぶコウノトリ飛来 うれしい出会い 本当にラッキーでした 2025.10.25. 13:30

数多くのため池が点在する加古川東岸 稲美野の田園地帯鬼踊りで有名な高菌寺前「中池」に



2.11月 素晴しい紅葉の秋 秋景色

◎ 妙法寺・名谷界隈の街紅葉 刻々と変化するその美しにはっと気が付く

- [1] 夕暮れ 横尾道&須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.
- [2] 山麓バイパス沿い名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025.11.14.
- [3] 妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025.11.15.-24.

【1】神戸須磨の秋景色 夕暮れ 横尾道で 野路菊が咲き始めた丘 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.

神戸須磨の秋景色 夕暮れ 野路菊が咲き始めた丘 & 須磨明石海峡に落ちる夕陽 2025.11.14.



夕暮れの陽ざしがまぶしい時刻 おそれけの散歩道 学生たちの草やぐ声が心地よし。

秋の夕暮れの陽ざしがウバメガシの林に差し込んで美しいおそれけの散歩道。

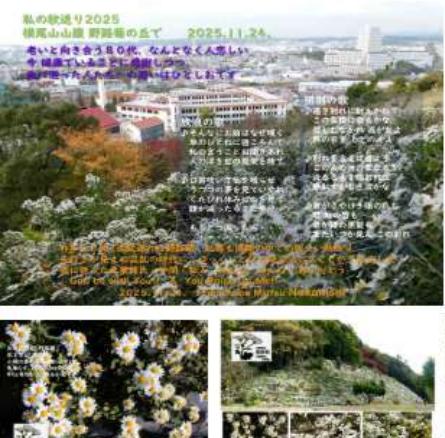
鉄カイ山まで行って、引き返して、久しぶりに高倉山で海峡に沈む夕日を夕陽を眺めることに。



【2】山麓バイパス沿い名谷ニュータウン 団地をつなぐ街紅葉 2025.11.14.



◎私の秋送り2025 野路菊の花満開の横尾山山腹 野路菊の丘で
兵庫の秋の風物詩:兵庫県の花 真っ白な小菊 2025.11.24.



【3】妙法寺 若草の丘の街紅葉 再認識した街紅葉の美しさ 2025.11.15.-24.



◎須磨の秋の風物詩 咲き誇る大輪の秋のバラ & 赤紅葉の離宮東ゾーン
須磨の秋の掉尾を飾る須磨離宮秋のバラ 2025.11.24.



3.11月 混迷を深める世相

この秋 気になった世相 神戸新聞コラム「正平調」等より

全文収録: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR071|News.pdf>



神戸新聞11月の「正平調」より眺めた世相



ノーベル賞受賞の北川・坂口両氏
日本の科学技術力 将来憂う
神戸新聞 2025.12.11.朝刊より



神戸新聞 朝刊 「汀にて」鶴田清一
木漏れ日のように密室の関係ほどくか

This collage consists of several newspaper snippets and a main headline. The snippets are arranged in a grid-like fashion. The top row contains two snippets: the left one is titled '1月13日、ノーベル賞受賞者としての坂口さんと北川さんを紹介する会見開催' (Press conference to introduce the坂口さん and 北川さん as Nobel laureates) dated 2025.1.13, and the right one is titled '2025.1.13に南ゆきへと向かう際、坂口さんと北川さんとお別れ」 (Saying goodbye to 坂口さん and 北川さん as they leave for the south) dated 2025.1.13. The middle row contains three snippets: the left one is titled '2025.1.16、六西格模議論にNMR測定の手法が登場する」 (NMR measurement methods appear in the discussion of the Six Sigma model) dated 2025.1.16; the middle one is titled '2025.1.15、WWFが環境問題の人権基準を発表、坂口さんらが内閣府に意見提出」 (WWF releases environmental rights guidelines, 坂口さん et al. submit comments to the Cabinet Office) dated 2025.1.15; and the right one is titled '2025.1.19、他の分野も含めたことを語る」 (Discussing other fields as well) dated 2025.1.19. The bottom row contains two snippets: the left one is titled '2025.1.20、坂口さんと北川さんによる会見開催' (Press conference by 坂口さん and 北川さん) dated 2025.1.20; and the right one is titled '2025.1.21、トヨタ自動車の創立者に贈られる賞を受ける」 (Receiving the award given to the founder of Toyota Motor Corporation) dated 2025.1.21. To the right of these snippets is a large, bold headline '日本の科学技術力 将来憂う' (Worries about Japan's scientific and technological power in the future). Below this headline is another snippet titled 'ノーベル賞の2氏' (The two Nobel laureates) dated 2025.1.21, featuring a photo of 坂口さん and 北川さん. At the very bottom right is a snippet titled '坂口氏、研究費貧弱若い人来なくなる' (Professor Sakaguchi, research funding is poor, young people won't come) dated 2025.1.21.

[2] 神戸新聞<汀にて> 鶴田清一 木漏れ日のように密室の関係ほどく力を

神戸新聞 2025/10/29. 決して より、整理を

(ひとは、一人が別の一人の頭髪をそっくりみるようにはできません)

すいん前のことになるが、大阪大学の大学院で哲学を学ぶ際財助にしたことはだ、ケアする人とされる人、ケアがそういう二人の間にした関係としてあるのがそもそも至ることなの

こうしてこの階層はうつまで、それにシカツアといういじめをもがくることになる。ある。
ケアといういじみが、クリヤーする人やされる人、たとえば家庭内の二人だけに向いているとき、その開拓は性別にして済まされる。くしゃくしゃしたりやりとりが重なり、ものがけながらほど空気は良くなり(?)になって、やがて指導者、召喚した(?)タイプに入る。

そんなときに、たまたま電話機が目を立てる、だれかが通りかかる、あるいはだれかの突然の訪問など予測もしない出来事が起こる。すると、もつれた関係がいたんま絶され、さらにその後の展開によってはわざわざながらもはどうけるということも起こる…。

■ 異然が馳みあう

介護をはじめとするケアの専門性は、そのように個別の力によって局所が変わるということがしばしば起こる。ケアには、主張の強度というより以上に、島の出来事という面があるからだろう。

だからケアの部屋では、日頃からそのような馬鹿事が起こりやすい空気をつくっておくという工夫がなされる。たとえばオナフロのエムランナーは、きっとやめとけ! などいきなりうそひどい言ふとさ。

「15分くらい経ったころ、いちどケータイ鳴らしてね」と同意に眉をひそめること。

いつてみれば即ちひとと勝み込んでおくと贏むことがある。

そういう工夫、あるいは自慰器が日頃からできていればいいが、しかし、偶然とは意外で起こるものだし、また彼女のスタッフ本人にそうした余裕を求めるのは筋であろう。

ケアは「世話」や「配達」をはじめとして「してあげる」もののように記述されたりするが、むしろ思われる間際に剥離されるという面がかなりあるようにおもう。

東京工業大学(現・東京科学大学)の未来の人類研究センターが実行している「テクノロジーに対するはあるのか?」という冊子を読んでいて、ある記述に腹が立った。

美学者の伊藤亞紗さんが、「えらぶ」という行為がある脳回をもってその結果をコントロールしようとするに対し、「漏れる」というのは、結果に無関係なのに、全体としてはどこか唯(か)みあり、うまくいく、そういう事態がでて

「漏れん」といはばるう、「漏電」に「漏水」、さらに「情報漏れ」というふうにネガティヴに語られるけれども、あたりが「情報漏洩」をひんから一貫意識せ出させておかないと、災害などの緊急時にはかえって危険だというのだ。あるいは「情報漏洩」があるから、どこをまかへんにケア」だらいいか、とすべきである。

「慣れて」ほうということが、社会性を生み出す」というのである。

筋肉をほぐすとよくへきりというものがある。

朝日新聞11月の「正糸調」に切詰めた世相

ノーベル賞受賞の北川・坂口両氏
日本の科学技術力 将来憂う
神戸新聞 2025.12.11.朝刊より

神戸新聞 朝刊 「汀にて」鷲田清一
本漏れ日のように密室の関係ほどく力

4. 桂 文珍さん の 落語的見聞録 神戸新聞掲載記事整理転記

9月 国民が食い物にならぬよう 10月 いい仲人さん政界にいれば 11月 せっかくかつぎあげたけど

全文収録: <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0711Bunchin.pdf>

<桂文珍 落語的見聞録>		9月・10月・11月
<1>	国民が食い物にならぬよう	2025. 9. 18.
<2>	いい仲人さん、政界にいれば	2025. 10. 16.
<3>	せっかくかつぎ上げたけど	2025. 11. 20.

fkobeR0711Bunchin.pdf

神戸新聞朝刊

神戸新聞 next より

整理転記

<桂文珍 落語的見聞録> <1> 国民が食い物にならぬよう

2025/9/18

阪神タイガースが優勝したのと石破茂首相が辞任を表明したのが同じ日で、関西人のほとんどは阪神戦をTV中継で見ていて、石破さん辞任のニュースを知らないのでは…と思いつか、最近はホットな情報はスマホで知る方が多いらしい。

石破さんが総裁選に出たときは9人の候補者がいて、野球のチームでも作るのか？ どうして？ 党首(投手)を選ぶ、投げる球は外角か？ いや内角(内閣)。なんてシャレを言っていたのだが、今回は5人の候補になりそうだという。この五人囃子(ばやし)、どうなることやら… いずれにしても、国民の方を向いて政治をやってもらいたい。物価対策や政治と金の問題等々、そこを皆さんはしっかり見定めていると思う。



そんな中、今年の夏、なんばグランド花月(NGK)の高座を終わってやれやれと思っていると、面会を希望している方がいて、その方はどうも私めが慶應大学で教鞭を執っていた時の教え子さんらしいとのこと。へーー、懐かしいなあ…と。なお、その方は今、参議院議員だという。へーーの連続。

会っても覚えていなかった。彼はもう3期目なんだとか。またまたへーー。
いろいろと懐かしい話をして、向こうは私に先生と言っていたが、最後は私の方から「先生頑張ってね」と。いややはや、どっちがどうなのか。

いろんな教え子がいて、以前は全日空の機内でCAさんに「先生、ご無沙汰しています」とアメを二つ頂いて、ナメられたもんだ、なんて思ったこともあった。

それにもしても政治の世界は大変なんだろう。国政だろうが市政だろうが難しい問題がいっぱい。

選挙の内幕、役所の裏側体験を基に書かれた本「市長たじたじ日記」では、著者の清水聖士(きよし)さんが、市長職を5期務め、衆議院選に出馬、落選となり、サルは木から落ちてもサルだが、議員さんは落ちればタダの人、つぶしの利かない仕事…と赤裸々に語っておられ、フムフムとアッという間に読めた。面白い本だった。

「ライオンの祈り」という小噺(こばなし)では、牧師さんがアフリカで布教活動をするうちにジャングルに迷い込む。そこへ突然、人食いライオン、「ああ、今日で命が終わりか…助けたまえ」と祈ると、ライオンも十字を切って祈っている。助かった！ と思ったら、ライオンが「食事の前のいつものお祈りです」と、すさまじい。
いい政治になるよう祈りたい気分、だれだって食いものにされたくない。

(かつら・ぶんちん=落語家)

高市早苗氏 初めての女性首相誕生 男性ではやらぬ意外なパフォーマンスもあってか、

若者から高齢者までの「大人気」をわしづかみ。

トランプともうまくやったし、大型予算を組んで、物価対策。日本を読みがらせると怪気炎。

お金も活力も衰えた日本ですが、国債を大奮発しての積極財政。でも、これみな借金で……

バッくボーンはアベノミックスだと。つい最近まで流行った工程表は??? これからだと。

「見える化」はどうなんだ。 いうがやすい。空手形にならぬよう。国民はみんなそれが怖い。

目の前にライオンならぬ大きな熊がいる。待ったなし さあ どうする。

落語の一席ではないので”どんでん”など起こらぬ。

大きな見栄も切ったし、大きな約束 新しい風が一般市民の隅々まで吹き渡るよう期待する。

日本人でノーベル賞を受ける方が2人も出るとは何と吉報。
生理学・医学賞で坂口志文さん、制御性T細胞で病が治り、
化学賞では北川進さんが金属有機構造体なるもので、
狙った物質を自在に閉じ込めるという。
これらは人類にとって夢を与えてくれる。
世界の病のような戦争や困った出来事を治したり、
閉じ込めたりする法はないものか…とふと思う。
そんな吉報の中、国内の政局は混沌としている。



昔、フォークグループ「古井戸」が歌ってヒットした「さなえちゃん」という曲があった。
「♪大学ノートの裏表紙にさなえちゃんを描いたの…でも鉛筆で描いたからいつのまにか消えたの…♪」
自民党の総裁に高市早苗さんがなり、そのまま総理大臣になるのかと思いきや、
公明党が自公連立を白紙に…とのこと。さあ、大変。国民民主の玉木さん？ 野党連合になる？
それとも公明の斎藤さん？ やっぱり、高市さん？と
臆測がとぶが、ふと昔、自民、社会、新党さきがけの時の村山富市元総理を思い出す。
当時、阪神・淡路大震災で、大変な時だったことと重なる。
今、村山さんは101歳になられ、お元気でマユ毛を伸ばし、寿命も延ばされている。
落語「厩(うまや)火事」。
夫婦げんかをし、亭主の本心を知りたいと髪結いのお崎さん、仲人に相談すると
「昔、孔子という人が大切にしていた白馬を留守の間に火事で失ってしまう。
帰宅した孔子は焼死した白馬のことは少しもふれず、家来の安否を尋ねただけ。
一方、ある屋敷の旦那は瀬戸物にこっていて奥方が大切な鉢を持ったまま階段からすべり落ちた時、
鉢の方ばかり気にして奥方の体のことは少しもきかなかった。
人間の本心はこういうところでわかるもの、
おまえの亭主も瀬戸物が好きで集めているから、それを壊し、もしもおまえの体を心配してくれれば良し、
瀬戸物ばかり気に入っているようなら別れてしまえ」と言う。

お崎、家に帰り、瀬戸物を壊す。亭主「どこもけがは無かったか？」の一言。
「ああ、やっぱりあんたはいい人、私の体が大事かい？」
「当たり前よ。おまえがけがすると明日から遊んで酒を飲めねえ」と、よくできた噺(はなし)。

自公は元に戻らないのか？ 政治資金改革が大きなハードル。
政治の空白は困るのだ。いい仲人さん、いないのかなあ…。

(かつら・ぶんちん=落語家)

よく知られた落語「厩(うまや)火事」の噺。
返事は思い通りで、万々歳。でも、思いは別のところにある。よくあることだと笑い飛ばすもよし。
「ええ 悪いは別や。結果がすべてや」という話もよく聞くし、「それは結果論やないか」とも。
受け手はアプローチもよく知つてほしいと思っていることも…。
政治の世界はどうだろうか…。「大極は誤ってはならぬ」との言葉もある。でも 見誤らぬよう願いたい
 鉄鋼には「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて 其の態を変える」との言葉がある。頭に叩き込んだ言葉です。
さあ、政権はどんなかじ取りをしてゆくのだろうか…

週に一度は実家の丹波篠山に戻ることにしているのだが、
その節、必ずみなさん「クマに気をつけて」とおっしゃる。
以前は「クルマに気をつけて」だったのに。
今年ほどクマ出没のニュースを見たことがない。
秋田ではあの「イオン」にクマが入ったとか。
冬眠用のアウトドアグッズでも欲しかったのか、ワオンの
ポイントが欲しかったのか…。
人との共存はなかなか難しい。



散歩も以前は暗いうちから歩き始めたが、
最近は派手めの服で昼間に歩かないとクマに間違えられて、猟友会のオジサンに撃たれないとも限らない。
何しろ猟友会の近所のオジサンも年だからなあ。

同じクマでもパンダは人気があって保護されている。
みなに恐れられているクマはパンダをどう思っているのだろうか？
白浜のパンダが中国に帰ってしまい、パンダロスの人もいるとか。
この中国、もうパンダを貸してくれないだろう。
何しろ高市早苗首相の台湾有事に関する答弁を機に日中の対立。
中国の教育省は日本への留学計画を慎重に検討するようにとか、渡航も当面控えるようにと注意喚起したとか。
日本は中国にビジネス、文化、あらゆる面で影響を受け、互いの立場を尊重し合って今日がある。
ここは外務省さんに頑張ってもらいたい。

落語「二十四孝」。
少々暴れん坊で困った男に、家主さんが昔、中国にいた24人の親孝行者の話をする。

例えば、王褒（おうほう）という人はお母さんが生前雷が嫌いだったので墓参りで雷が鳴った時、
自分の着ている服を脱いで墓石にかけたとか、
孟宗はお母さんにタケノコを食べてもらおうと、竹ヤブに行ったが、雪が積もっていてタケノコがない。
ああ、親孝行ができないと嘆き、涙をハラハラと流すと、天に通じたのか、
地面からタケノコがニヨキニヨキと出てきたとか。
また呉猛（ごもう）は、家が貧しく夏場蚊がいっぱい出ても蚊帳を買えないで、
自分の体に酒を塗って蚊を集め、お母さんにゆっくり休んでもらおうとしたが、
親孝行の徳で呉猛に蚊は来なかったとか。

暴れん坊の男は

「そんな、体に酒を塗ったりせずに2階の壁に酒を吹きつけて蚊が2階へ行った時、はしごをはずす」
「アホ、蚊は飛んで降りるわ」とギャグ満載の噺（はなし）。

せっかく女性初の総理が生まれたのだ。

支持率も高市、慎重にご発言を。かつぎ上げた方々、ハシゴを外さないように…と願う。

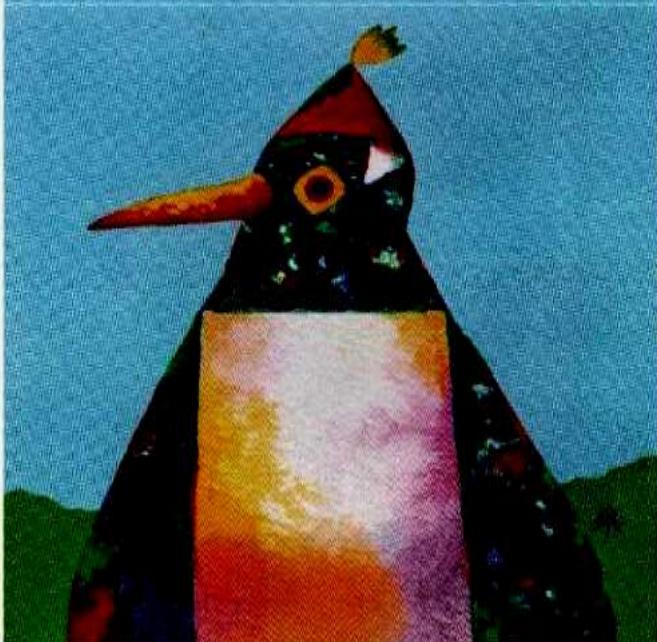
（かつら・ぶんちん=落語家）

落語「二十四孝」「二十四孝」の言葉は知っているものの二十四の孝行の中味はよく知らず。
この話が一番有名な話なのだろう。9・10・11月 3ヶ月 続けて 文珍さんも高市首相がらみ。
この秋 日本の政治は混沌 先行きがみんな気になる。そして、熊出没 対策先進県と言われる兵庫でも。
どうか 情報採取にご留意ください。熊も悪い熊と良い熊がいると。

5. 仲間からの定期便

M.Aさんからの定期便 今日の言葉 ニューモラル誌 11月号より

「日本らしさ」に心を向ける



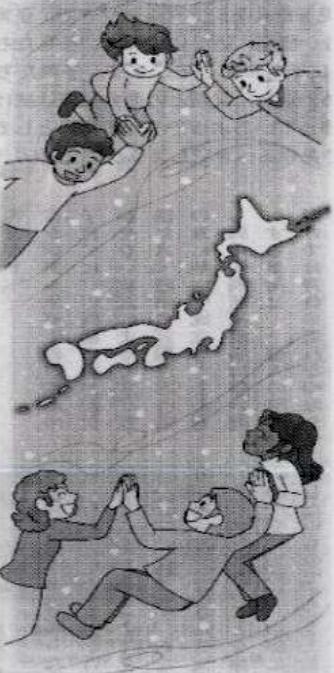
ニューモラル 今月の言葉

価値観の違いを認め合う

より良い人間関係を築くために育ってきたということに思いを巡らす必要があります。土台が異なれば、相手が自分とは違う境地でいることになるでしょう。この点を理解していれば、たとえ意見が食い違ったとしても、お互いの考え方とに違いがあるのが冷静に探る中で、意見を擦り合わせることができるのではないか。

相手の言葉に耳を傾け、「違い」は「違い」としてそのまま受け止めた上で相手の理解に努めることには、自分の持ち味に気づくことがあります。自分からもつながるでしょう。

出会いは「自らを見つめ直す機会」



私たちは自分とは価値観の異なる人に出会ったとき、「この人は分かり合えない」と決めつけて、できるだけ関わらないようにしたり、無関心を買ったりすることはないでしょうか。これは他国の人に対するときだけでなく、日本人同士の間でもいえることかもしれません。

しかし「異質なもの」に触れることで自分自身を見つめ直し、自らのアイデンティティーに対する自覚を深めたり、考え方の幅を広げたりするきっかけが得られることがあるのではないか。

「自分と同じ」ではないからこそ「相手から学ぶこと」があるのでした。

「日本らしさ」を形づくってきたものとは、先人たちにとっては「当たり前」と思えるほどに小さな心づかいや小さな行動の積み重ねだったのでないでしょう。

か。しかし今、私たちが無自覚に生活する中で「日本らしさ」が失われていくとしたら、どうでしょう。

自国の先人たちが培ってきた文化を大切に思えない人が、同じように他国で培われてきた文化に対して、心から敬意を払うことができるでしょうか。自国の文化に愛着を持ち、これを大切に守り伝えようとする意識を持つことは、他国の文化を尊重する態度を義う第一歩といえます。さらには「互いに敬い合う」という姿勢で誠実に向き合う中でこそ、私たちの文化と社会はより豊かなものになっていくのではないか。

◆ 今日日本ではインパウンドの課題が数々あり、世界でも国際協調に数々のひずみが生じています。

「同じでないから相手から学ぶ」頭がツンと撃たれました。そうですよね。

この姿勢が価値観の違いを乗り越えるキー。

ふと 金子みすゞの詩が頭に浮かび、広がってゆきました。



この11月各地で美しい紅葉が見られ、仲間からも色々思いを込めた紅葉の便りうれしい使い
H.Eさん他 多くの仲間から 各地の紅葉の秋景色が送られてきました。ありがとうございます。
また、T.Oさんからは落葉が面白いとGIFアニメにして送っていただきました。
ありがとうございます。



◆ 横浜川のA.C.さんから 2025.11.24.



此方は良いお天気です。
近くの公園でイチョウの黄葉とヌルデの微妙な紅葉が
青空に映えきれいだったので送ります。

◆大阪の日立さんだら 2025.11.26



◆兵庫のT.O.さんから 2025.11.30.



◆ 関山のYKさん 2025.12.2

— 1 —

— 10 —

19. *Leucosia* sp. (Diptera: Syrphidae)



— 1 —

T.Oさん製作の落葉のGif アニメ

この落ち葉はケヤキだとY.Kさん・A.Cさん発信
私も今 散歩の帰りに面白い落ち葉があると
すぐポケットに。また、こんなGIFアニメ作れるんやと
みんなみんな有難う。

本年の秋はどことも本当に美しい秋だったですね。

みんなの笑顔が想像できます。

これから寒くなりますが、ご無理のないように

From Kobe

OtoKareba.gif 下記リンクをクリックでGif

[Otorakend.github.io](#) ト記リンクをクリックして GIT

動きます

<https://>

ANSWER

6. 今回のHP 更新概要 今回更新のトピックス

今月の掲載 トピックス2025年10・11月

■ 10月 幸福を運ぶコウノトリにも出会えたうれしいコスモスの秋



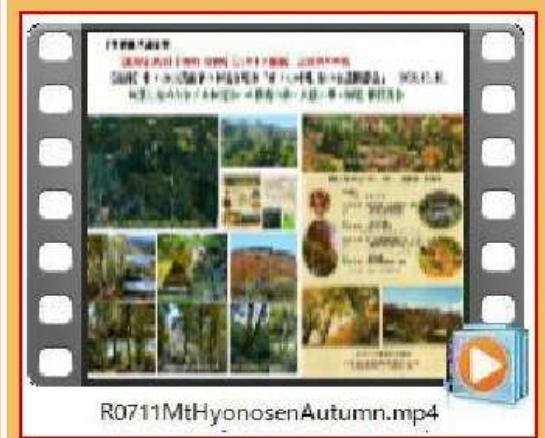
うれしいコスモスの秋
加古川西岸 志方広尾の里のコスモスとの出会い
もう 通い始めて もう何年になるだろう
爽やかな秋の風に吹かれて 振れるコスモスは
美しい乙女のごとく愛らしい
花言葉は「乙女の真心」「謙虚」「調和」
思わず 大空を見上げて 秋の空気を胸一杯

2025.10.25. From Kobe Mutsu



■ 11月 楽しみにしていた氷ノ山林道秋の観察会に参加 素晴らしいブナの森と共に珍しい野草にも出会えました。

また、毎日の散歩道で眺める紅葉の美しさ再認識再認識。神戸の秋景色をスライド動画にして楽しんでいます



スライド動画 神戸の秋景色 Photoの上でClick BGMと共に動画が再生します お暇なときにどうぞ

<https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/R0712.htm#TOPICS>

鉄の話題 【 鉄創世記プロジェクト通信 転記】

ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト(ホルス)の目 復元完了報告
興味津々で心待ちの隕鉄製「ホルスの目」復元完了の速報が村上教授より届きました

■ 鉄創世記プロジェクト(6)受信転記

[R0711TetsuSouseiki\(5\)web.pdf](#)

ホルスの目復元完了報告が届きました

ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト(ホルス)の目 復元完了報告

このプロジェクトでは利器(刃物)以外の隕鉄製鉄器にも挑むことを新たなチャレンジの目的として設定し、最も複雑で難しいとされるエジプト、ツタンカーメン王墓より出土した「ウジャトの目」にも挑戦。

昨日、完成品が大学に送られてきました。
本日手にして言葉が出せんでした。その美しさと隕鉄への加工が可能であったことに驚きました。
私の感動を本日中に支援者のみなさまと一緒に共有して速報させていただきます。

2025.11.4. 発信 人類・鉄創世記プロジェクトリーダー 愛媛大学教授 村上恭通

鉄創世記プロジェクトで復元された2つの隕鉄製のウジャト(ホルス)の目



野依克彦・佑月復元隕鉄製「ウジャト(ホルス)の目」



隕鉄に金箔嵌されたホルスの目



裏面の小さなイヤショウの葉
中央に大きな亀裂が見られる

[https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/iron21/R0711TetsuSouseiki\(6\)web.pdf](https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/iron21/R0711TetsuSouseiki(6)web.pdf)

◎ 更新後記 2025年一年間を振り返りつつ 2025年10・11月のHP更新。

HPをPCでもスマホでもきれいに見られるようにしようと取り組んで、それがなかなかうまくゆかず、時間があっという間に過ぎてしまって、いつも更新が遅れ気味。

おまけに毎年定点的にデジカメで季節の変わり目として記録してきた四季折々の移り変わりも随分変化したと思える昨今。自分の思っている季節感と現実の乖離がますます広がっていると感じる時代に。

これが、地球規模の温暖化と激甚化する気象変化 地球暴走目前といわれる中で、世界協調はままならず、先がよくわからぬ厳しい時代に。おまけに高度情報社会の現実は厳しいもの。そのほろびがここかしこ。真偽のわからぬ膨大な情報に世界が振り回され、大国の横暴に振り回される時代に。

自分の立ち位置をしっかりと確かめなくて、気になる情報を新聞・Webから収集。

自分を見つめつつ、情報提供することに終始した1年でした。

もうHP掲載の意味付けもなくなってきて、閉じようかとも思うのですが、一年を通じて、自分が歩いてきた道。

世界が混沌 先が見えぬ時代、自分の眼で見た行動記録と集めた資料は自分の立ち位置確認のベース。

毎日老化と向き合う歳になり、資料作りもままならず、いつストップするかわかりませんが、ゆっくりと周りを眺めつつ今を記録に残そうと。まあ 独りよがりの自分勝手なHPですが、そんな目でも眺めていただければ幸いです。

引き続きよろしく。

本当に色々な事があった一年 でもあっという間に1年が経ってしまいました。

「今までとは違うと感じる」事 これが老化か?」

と向き合う一年。 “我が身ばかりでなく、身の回りでも次々と色々ありました。

振り返れば、行動半径も狭まり、ほぼ毎日を神戸で過ごした一年でもありました。

でも 身体能力は衰えたとはいえ、まだまだ好奇心もあり、足も動く。

毎日散歩で眺めた景色 そしてインターネット・新聞で知った情報を集めての行動記録メモ作りの1年。

スライド動画の手法で、季節の移ろいをその都度とらえた Photo Fileばかりになってしまいました。

もうHPに掲載記録した File を引っ張り出すこともないかもしれません、激動の時代の生のデータ。

特に近年のスマートフォンの時代になって、

「真偽がわからぬ情報の氾濫 それも「数頼みの記録の残らぬ言いっぱなしの無責任さ」

穏やかな未来が訪れるようにと願いつつの一年です。

「高齢者は早く表舞台から退陣せよ」との声を意識しつつも、片隅にはこんな Data も残っていると思えればいいなあと。。

少数の意見も真摯に受け止め、聞き入れる余裕代がなければ決して革新の時代は生まれない。

「瓢箪から駒」「おもいかけぬ会話・討論」が汚き金のアイデアは数知れず。

同調・知識が知恵にならないと…

大国の横暴が国際協調を崩し、対立をあおる時代の中にいる今

鷺田清一先生の神戸新聞「汀にて」木漏れ日のように密室の関係をほどく力 には感銘を受けた

また、今 つくづく「多くの人に助けられつつ生きている」と感じる一年でした。

そんな尺度を持ちつつ老化と向き合う毎日 元気に前向かねばと。

また 勝手なぶつぶつです。

お互い今元氣でいることに感謝しつつ、来年も前向いて。

God be with You!! 今日も一日 Nice Day!! と ありがとうございます

2025年師走 From Kobe Mutsu Nakanishi

2025年「和鉄の道・Iron Road」を振り返って	
HP 和鉄の道 2025年掲載記事	
【和鉄の道・Iron Road 2025 : 鉄の話題 全16編】	
■ 限鉄素材による限鉄鉄器原始鍛冶復元 鉄創世記プロジェクト通信の軌跡	6篇
■ たら製鉄・たらの歴史の関連	3篇
■ インターネット・新聞ニュース:低炭素社会実現へ日本の鉄鋼再生の道	7篇
◆ その他 Review Document	2篇
◆ スライド 動画	1件
【風来坊・Country Walk2025 全28篇+積み残し2件】	
■ 近畿 walk	27篇
■ その他 各地walk	0篇
◆ その他 Review Document	1篇
◆ スライド 動画	27件+積み残し2件
【四季折々・From Kobe 全9篇+収録添付16件】	
■ 神戸季節の便り	9篇
▼ 神戸季節の便り収録	
◎桂文珍落語的見聞録 神戸新聞 整理転載	6篇
◎気になるニュース インターネット・神戸新聞コラム他	10篇